



令和8年2月

1年 86 名 2年 90 名 3年 96 名

全校生徒数 272 名

ホームページアドレス <https://fujinomiya-shizuoka-03miya3.edumap.jp/>

<感謝 ～ありがとうとは～> 校長 菊地 範士

まもなく1月も終わります。本年度も残り約2ヶ月となりました。授業日は36日です。3学期の始業式でも言いましたが、ゼロ学期としてどう過ごしていますか？残りの日々をどう過ごしますか？もう一度自分を見つめ直してほしいと思います。3月19日は修了式と卒業式になります。



3年生は夢の実現に向けて、進路決定の最終局面に入ってきました。来週は私立入試があります。3月4日・5日には公立高校の入試が控えています。自分を信じて頑張ってください。2年生は準備できているでしょうか？4月には義務教育9年間のゴールに向かう最終章です。今年の3年生に追いつき、追い越すつもりで頑張ってください。1年生も成長した姿がみられます。3年生や2年生の姿を目標にしましょう。4月からは先輩と呼ばれます。

1・2年生は三中をリードしてきた3年生への感謝の気持ちを忘れず、1年後・2年後の自分を見据えて準備をしてください。3年生は次へのステップと目の前にある試練への挑戦です。

さて、今日は感謝についてお話しします。「感謝」という字の「感」は「感じる、心が深く（強く）動く」という意味です。そして「謝」という字は「言」と「射る」が組み合わさっていることから、「言葉を射る」＝「言葉を発する」ことで、相手に自分の意思を言葉で伝えるという意味をもっています。「感謝」とは「相手に対して心が強く動き、そのありがたいという気持ちを言葉にして伝えること」という意味になります。

「感謝」は、人や物・事に対して「ありがたい」と感じた気持ちを言葉や態度で表すことです。

その、「ありがたい」は「ありがとう」の語源で、漢字で書くと「有り難い」となり、「有り難い」は「有ること」が「難しい」ということから、「めったにない」「めずらしくて貴重である」という意味があります。そうすると、「ありがとう」の反対の意味は「当たり前」になります。当たり前になっていると感謝の気持ちを表す「ありがとう」という言葉が出てきません。皆さんには、いつも感謝の気持ちを忘れずに「有り難い」と思って、学校生活や家庭生活、地域での生活を送ってほしいと思います。そして、学校中に「ありがとう」の言葉が飛び交う、素敵な三中にしていきたいです。

(1月26日 全校集会から)

【富士山学習 PARTⅡ発表会】

1月17日(土)の午後に、2年生の代表生徒による「富士山学習 PARTⅡ発表会」ステージ発表を行いました。富士宮市が通過型観光地となっており、滞在型観光地となるためには、どのようなことに力を入れていけばよいのかを、それぞれの研究の過程を示しながら、5人の生徒が話し合いを通して、観客に訴える内容となっていました。感染症が流行していたこともあり、1、3年生はリモートでの参観となりましたが、どの学年も真剣に聞き、さらにより発表にするためにはどうしたらよいのか、滞在型観光地になるためには何が必要かなど、発表後の感想用紙には質問、意見がたくさん書かれていました。



1月31日(土)には、富士宮第四中学校体育館にて「富士山学習 PARTⅡ発表会」が開催されます。お時間のある方は、足を運んでいただき、各校の児童生徒の思いや考えを聞き、一緒に富士宮の未来について考えてみてください。

【令和8年度入学説明会】 令和8年1月22日(木)

令和8年度入学生の子育てを支援する入学説明会を開催いたしました。今年度は、本校のスクールカウンセラーである、井出由美子先生を講師に招き、「こどもの心を守る 支える」を演題に子育て学習講座を行いました。

講座の中では、「大人に都合のいい教育やしつけをしていないか考えてみましょう」と問題提起がありました。「我が子に『良い子』を求めているか」「明るくなければいけないと、『弱さ』『暗さ』を否定していないか」などの投げかけがあり、参加された保護者の方は、周りの保護者の方々と話し合う姿も見られました。井出先生からは、「こどもから逃げない覚悟をもつ」ことを心掛ける反面、「こどもは自分を守るためにはうそをつくこともある」ことを頭に入れておく必要があると話がありました。「大人がこどもの心を守り、支えることができれば、こどもの心は健全に機能します。しかし、親だけで育てることには限界もあります。家庭、地域、学校が連携し、みんなでこどもを育てていくことが大切です。疑問がわいたら確認をし、迷ったり、悩んだりしたら、相談をしてほしい」と最後に締めくくっていました。



【目指す三中生の姿】

令和7年度も残すところ32日(1月30日時点)となりました。今年度は、生徒主体での特別活動、対話で進む授業、互いを認め高め合う学級づくりを軸に取り組んできました。

「自分の行動に責任がもてる」「相手の気持ちを考えて言葉を発することができる」「より良い学校生活を送るために仲間と協力することができる」「将来に向けて学習を進めることができる」など、理想とされる中学生の姿にどのくらい近づけているか、残りの3学期をどのように過ごして、進学、進級を迎えたらよいのかを生徒と共に考えていきたいと思います。

自慢ができる、誇れる富士宮三中となるように、生徒、教員が一体となって、残りの日々に取り組んでいきます。

